

東和便り

第8号 校外学習・挨拶(あいさつ)号

2014.6.17 東和中学校

校外学習、みんなで楽しく学習しました！

2014年5月30日、1年生は白浜「アドベンチャーワールド」、2年生は「バンドー神戸青少年科学館」の見学と「北野異人館」の散策、3年生は班別活動をしながら学校から「海遊館」へと、それぞれ目的意識をもち校外学習に行きました。



挨拶(あいさつ) みんなで実践していきましょう！

「挨拶」(あいさつ)という漢字は日常的にあまり書く機会が少ない漢字ですが、書けないけれど読めるという人が多いと思います。

「挨拶」の意味を調べてみると、これは元々、仏教の禅宗で使用されていた「一挨一拶」(いちあいいちさつ)という禅語が、日常語の「挨拶」になったと言われています。

禅僧の師弟の間で、師匠が弟子と押し問答をして、その者の修行や悟りの深さを試す意味に用いられ、その問答のことを「一挨一拶」と言ったようです。

「挨(あい)」は、心を開くという意味があり、「拶(さつ)」は、相手に近づくという意味があり、問答を交わしながら、相手の仏法修行の悟りの深さを悟ったと言われています。

挨拶(あいさつ)は、「心を開いて、相手に近づく」という意味なのです。

本校では、月に1度の「生徒会あいさつ運動」が実施されています。また、PTA役員さんの協力で、毎月、第3月曜日に「笑顔でおはよう」運動も実施しています。

正門をくぐる生徒達だけにではなく、通勤する地域の方々や通学する小学生や高校生にも朝の「おはよう」の声かけをしています。最近では、野球部の部員達も早朝から「あいさつ運動」を実施しています。非常に気持ちの良いものです。



パソコンやスマートフォンと向き合う時間が多くなり、人と挨拶をする機会が少しずつ減ってきているような気がします。

そして、顔を見知った者同士の中で慣れてきてしまうと、だんだん挨拶がおろそかになったりすることは、誰でも経験があるのではないのでしょうか。

「挨拶」は、無駄なこと、余計なことなどではありません。相手に信頼感や安心感を生み出すことができるのが「挨拶」なのです。

スマートフォンのアプリより、ずっと便利なコミュニケーションのツールとしてみんなで「挨拶」を有効に活用していきましょう。

学校長 東方 美喜夫

※朝の読書活動をみんなで充実させましょう！

※朝の読書活動をみんなで充実させましょう！